



皮膚科・アレルギー科

松戸ひなげし皮膚科

<http://www.hinageshi.jp>

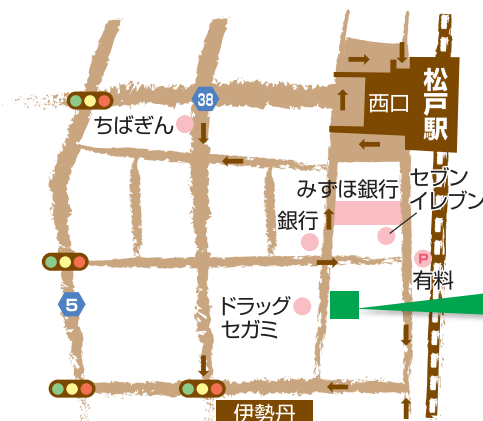
● 診療時間 ●	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30-12:30	○	○	○	休診	○	○	休診
14:30-18:30	◎	○	○	休診	○	/	休診

◎ 月曜午後のみ19:30まで診療

※ 受付は診療終了時間の30分前までです

お問い合わせ

TEL 047-711-7476



松戸ひなげし皮膚科

松戸駅西口徒歩2分

1F 松戸駅西口郵便局

〒271-0092
松戸市松戸1305-25 小畑ビル4F

ひなげし通信 No.4



院長 谷野 千鶴子

ひなげし通信

4号 不定期発行

お題「^{たいじょうほうしん}帯状疱疹」

今日は「^{たいじょうほうしん}帯状疱疹」のお話をしましょう。

体の片側に痛みのある発疹が出たら“^{たいじょうほうしん}帯状疱疹かもしれない”と疑います。

^{たいじょうほうしん}帯状疱疹かどうかは、皮膚科の専門医が診察すれば視診で診断できます。

原因は“^{すいとう}水痘・^{たいじょうほうしん}帯状疱疹ウイルス”です。子供のときに発症した^{たいじょうほうしん}水ぼうそうのウイルスが体内の神経節に残り、成人になって再活性化して^{たいじょうほうしん}帯状疱疹として現れます。

神経節に^そ沿って発症するので、発疹が体の片側だけに出現するのが特徴です。まれに痛みのない人もいます。何日か前に痛みを感じた場所に発疹が出ることもあります。

発症しやすい年代としては、60歳代を中心に50～70歳代に多くみられます。過労やストレスが引き金となって若い世代の方にも発症する可能性があります。なぜなら、^{たいじょうほうしん}帯状疱疹の発症には免疫力の低下が深く関連しているからです。

治療は抗ウイルス薬の内服が中心で、場合によっては痛み止めも合わせて処方します。^{ウイルスが増えていくのを抑えることが主な治療}なので、^{発疹が出現してからなるべく早く服用を開始することが重要}です。

痛みのある発疹が出た場合は、お早めに診察にいらしてみてください。